

# 高槻城公園の整備について

高槻市 街にぎわい部 歴史にぎわい推進課  
〒569-0067 大阪府高槻市桃園町2番1号  
電話 072-674-7393

# 1 主な経過等

## (1) 主な経過

年 月	主な経過等
平成16年 3月	・城跡地区基本構想素案（試案）の策定
平成23年 3月	・市民会館建て替え基本構想の策定
平成27年 2月	・市民会館建替基本計画の策定
平成28年 3月	・城跡公園再整備基本計画の策定
平成29年 2月	・城跡公園の都市計画変更（公園区域の拡大）
令和元年 9月	・高槻城公園芸術文化劇場南館工事に着手
令和3年 2月	・城跡公園の都市計画変更（公園区域の拡大、名称変更）
令和3年 6月	・高槻城公園中央エリア整備工事に着手
令和5年 1月	・文化財保存活用地域計画の策定
令和5年 3月	・高槻城公園中央エリアの開園（3月18日）
令和5年 6月	・高槻城公園北エリア施設解体工事に着手 （令和6年度末に完了予定）



中央エリア開園（令和5年3月）



市民会館解体状況（令和5年11月）

## (2) 関連計画

### 城跡公園再整備基本計画

#### 計画の目的

公園内に設置される高槻城公園芸術文化劇場との調和を図りつつ、緑と歴史にふれあう交流拠点として一体的に再整備するために策定

#### 再整備基本理念

みどり・歴史・文化でつながる 憩いとにぎわい空間の創出

#### 歴史の整備方針

- ・城跡を思わせる施設を設置
- ・高槻城の空間構成要素を参考に整備



高槻城と計画地の配置比較（赤枠が計画地）

# 文化財保存活用地域計画（計画期間：令和4年度～令和13年度）

## 概要

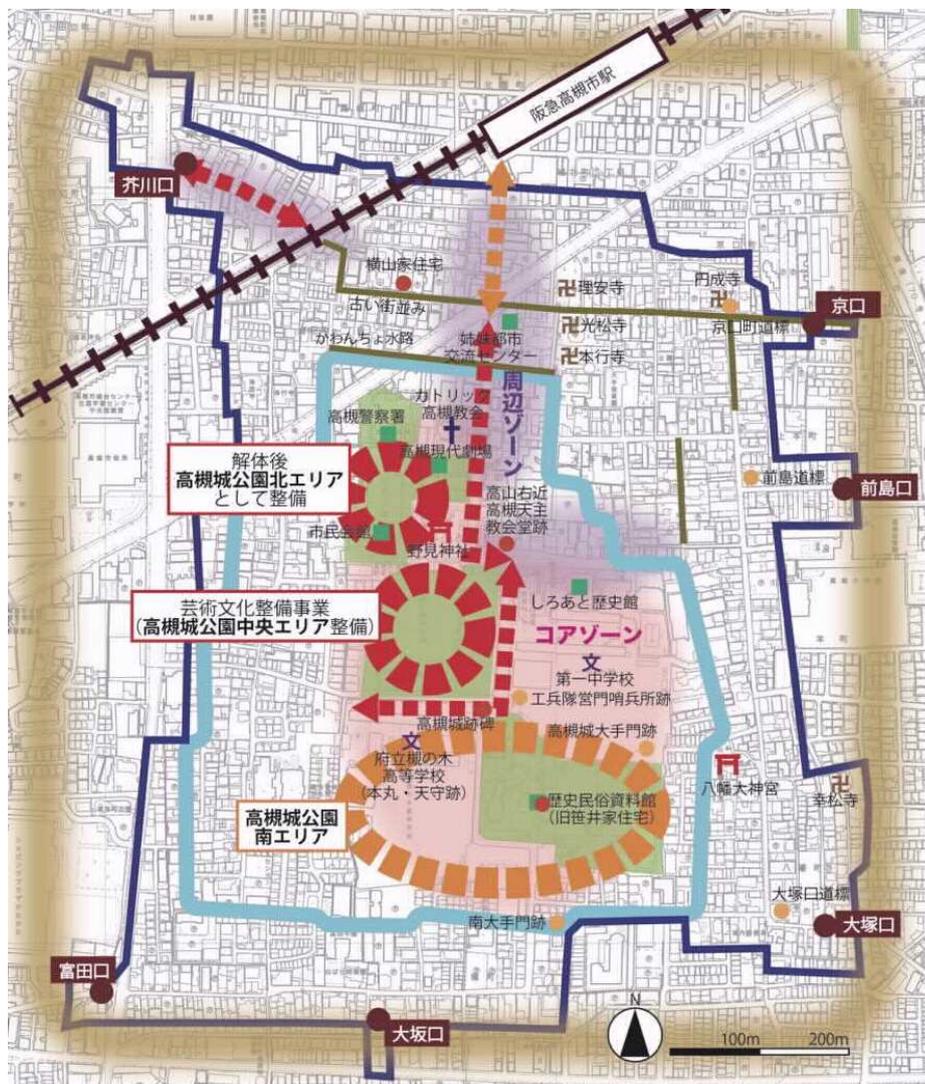
高槻城を核とする「城下町エリア」を、文化財が集中し、文化的な空間を創出する文化財保存活用区域に設定

## 文化財保存活用区域の目的

文化資源・文化財の地域のアイデンティティやシンボルとしての認知を広げ、市民の誇りや愛着をはぐくんでいく

## 城下町エリアの目指すべき姿

かつての高槻城を思わせる堀や塀を再現するなど、歴史的な遺構を現代的に再現する他、城下町のシンボルともなる天守や櫓等、「高槻城の復元」を目指す



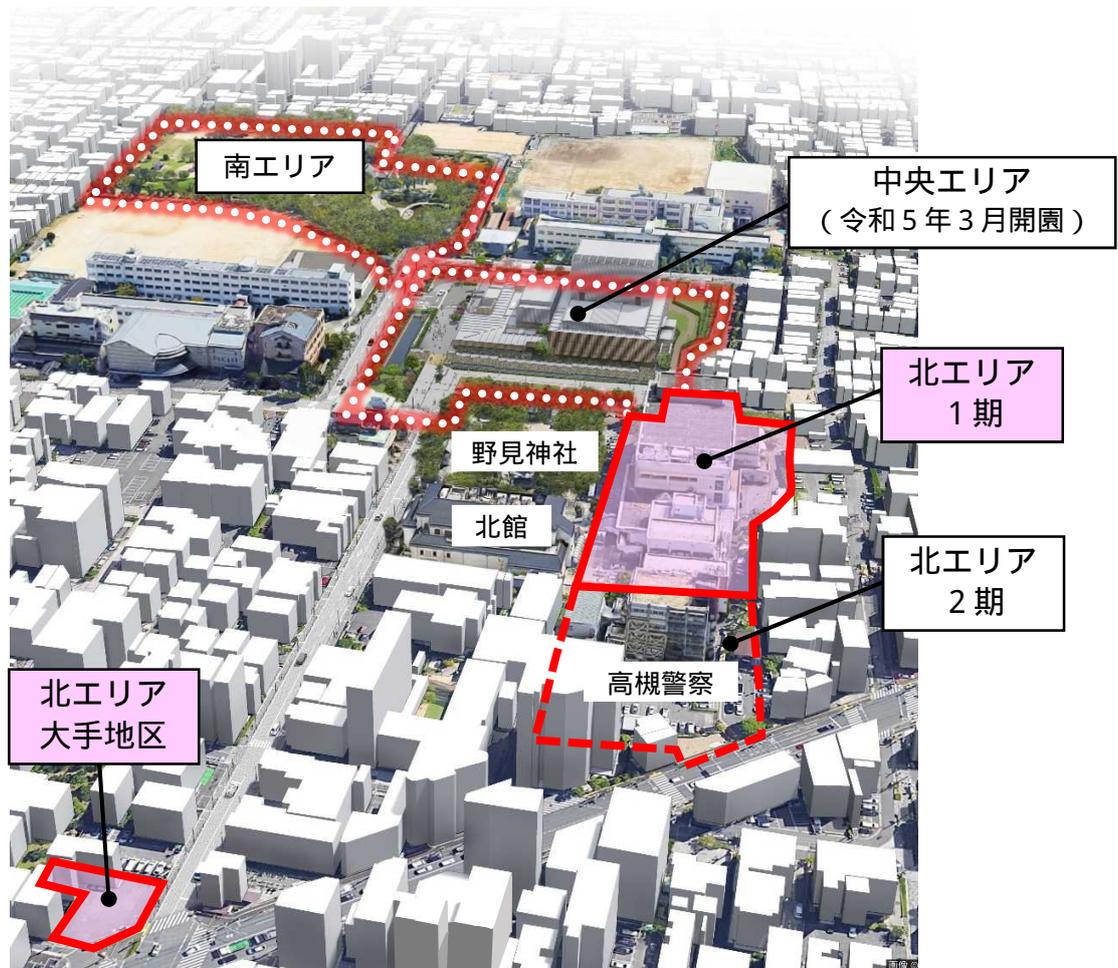
城下町エリアの範囲

- 城下町エリア範囲
- 江戸時代後期の町割範囲
- 城の外堀

## 2 公園整備（北エリア）

○高槻城の跡地に整備され、長年市民に親しまれてきた城跡公園を、芸術文化劇場の整備に併せて、歴史的景観づくりのシンボルとなる「高槻城公園」としてリニューアル

○市民会館等の跡地を高槻城公園北エリアとし、かつての高槻城三の丸を再現



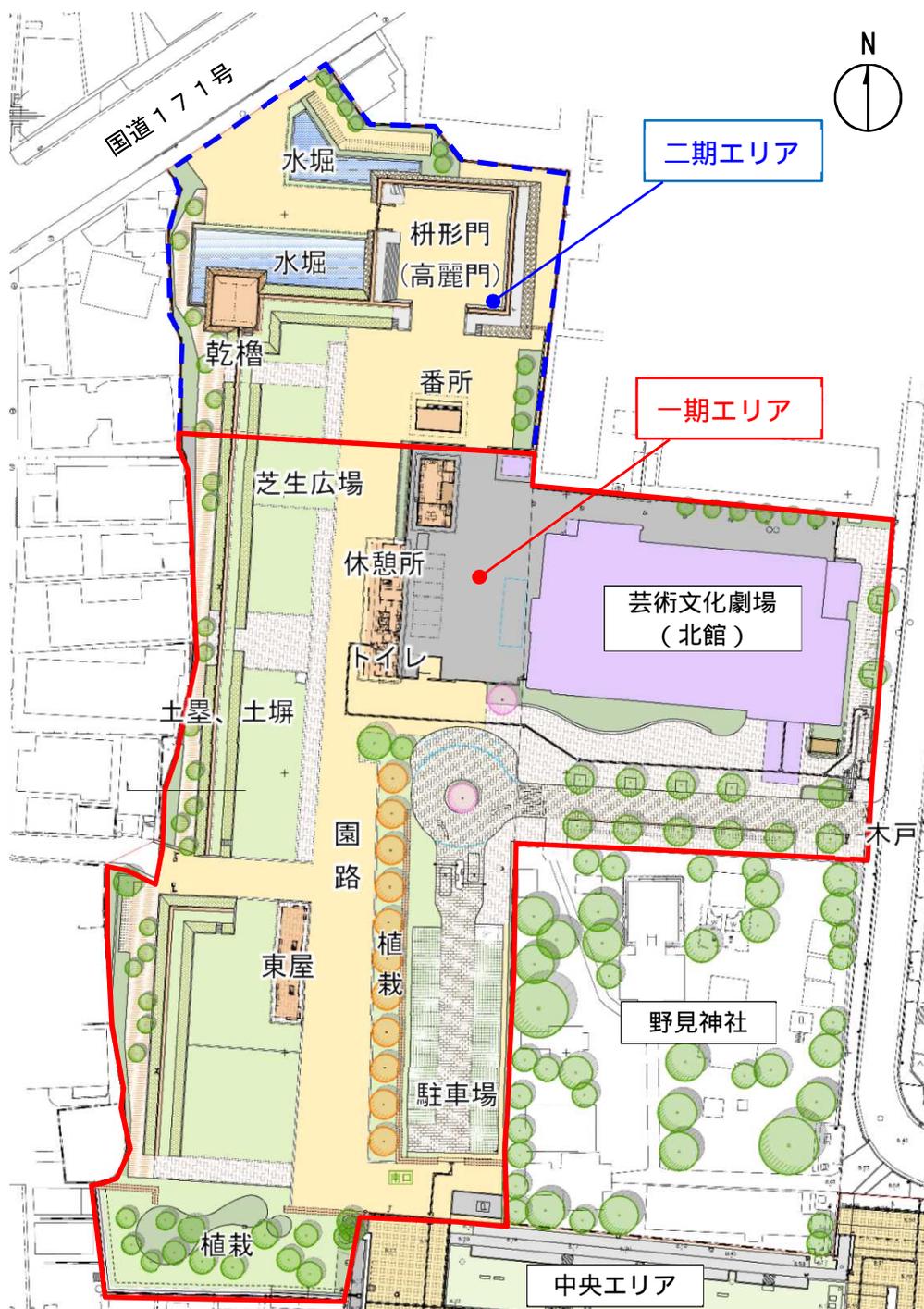
高槻城模型（しろあと歴史館）

### 高槻城公園北エリア

- ・かつて大坂城、岸和田城とともに、府内三大城下町として繁栄していた高槻城
- ・北エリアは高槻城三の丸の跡地
- ・北西隅には2層式の乾櫓が存し、外周は土塁と土堀で囲われていた
- ・内部には武家屋敷や番所などが存していた

## 平面計画 北エリア（案）

- 絵図等に基づき、歴史性を重んじた伝統的な技法・材料による再現
- 高槻城を構成した乾櫓や高麗門をはじめ水堀や石垣、土塁、土塀、武家屋敷の区画などを再現
- 市街地の新たな安らぎと憩いの空間となる芝生広場や休憩所などを設置



## 平面計画 北エリア大手地区（案）

- 絵図等に基づき、歴史性を重んじた伝統的な技法・材料による再現
- 高槻城下町の街並みや高槻城の玄関口に相応しいシンボルとなる建物の再現を検討



北エリア大手地区 現況平面図



高槻城下町の街並み(高槻城復元模型)

## 整備イメージ

- ・北からの眺望（全体）



- ・国道171号からの眺望（乾櫓、高麗門）



将来イメージのため、今後変更する可能性があります

- ・園路 北からの眺望（番所、休憩所、トイレ）



- ・園路 南からの眺望（東屋）



- ・芸術文化劇場北館 東からの眺望



将来イメージのため、今後変更する可能性があります

### 3 今後の予定（北エリア・大手地区）

年度	令和5年	令和6年	令和7～8年	令和9年～
市民会館	解体工事			
北エリア	基本設計	実施設計	整備工事 (一期エリア)	実施設計 整備工事 (二期エリア)
大手地区		基本設計 実施設計	整備工事	